

# 資料編

令和2年11月

京都市 都市計画局 都市計画課

# 目次

## 【定住人口】

・人口集中地区，行政区別の人口増減（H22→H27）	3
・行政区別の社会動態の推移（H24→R1）	4
・社会動態《年代別》（R1）	5
・社会動態《20・30歳代・周辺市町別》（R1）	6
・周辺市町への社会動態と住宅開発動向（H21～H25）	7
・周辺市町への社会動態と住宅開発動向（H26～H30）	8

## 【住環境】

・マンションの住戸面積《周辺市比較》（H26～R1）	9
・マンションの平均価格（㎡単価）《周辺市比較》（H29→R1）	10
・住宅地の地価（㎡単価）《周辺市比較》（H30）	11
・空き家率と空き家数の推移《行政区別》（H25→H30）	12
・日常生活に必要な施設《医療・福祉》	13
・日常生活に必要な施設《商業施設》	14
・宿泊施設の立地状況	15

## 【昼夜間人口】

・昼夜間人口《行政区別・市内居住者の就業地比率》（H27）	17
・昼夜間人口《行政区別・市内就業者の居住地比率》（H27）	18

## 【産業・働く場】

・市内総生産・一人当たりの市民所得《推移》《政令市比較》	19
・クリエイティブ産業の事業数《政令市比較》（H28）	20

## 【都市圏・他都市】

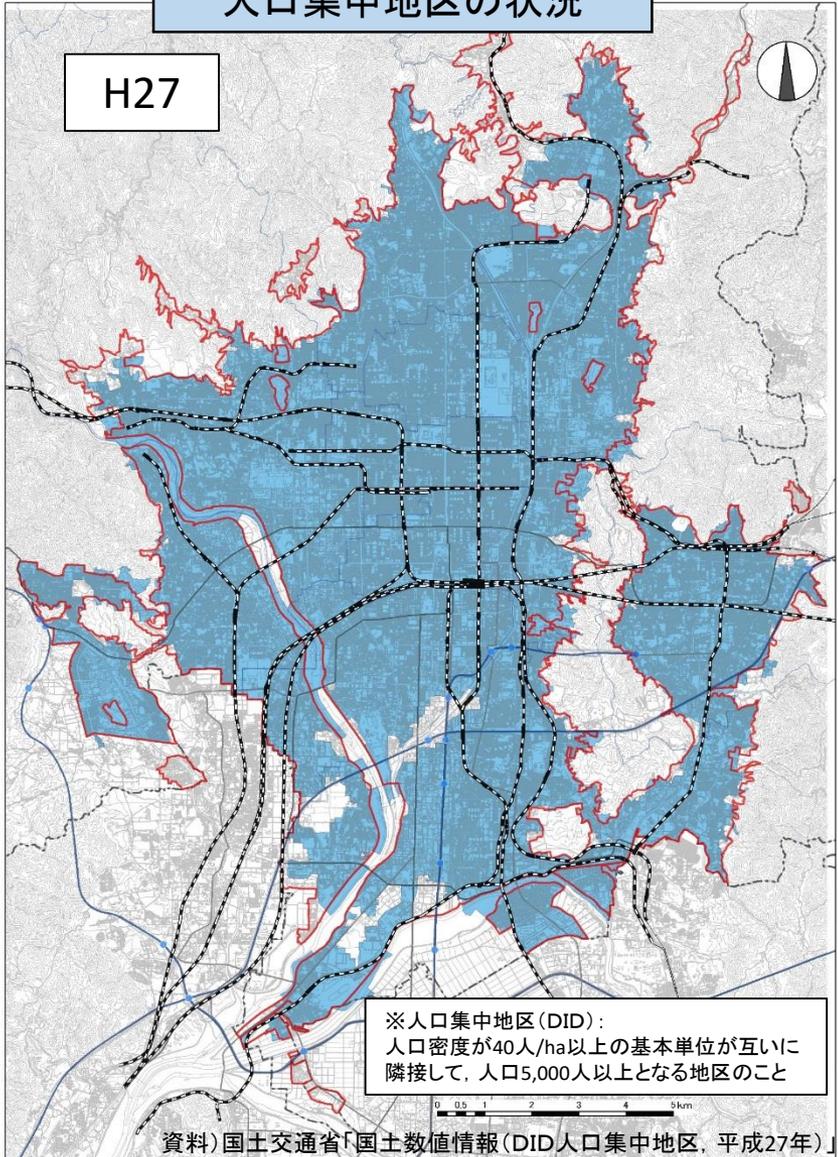
・人口，産業《大都市比較》	21
・物流施設の立地状況《南山城地域》（H22～R2）	22

## 【その他】

【大学】大学・短期大学の立地状況	23
【観光】交流人口・観光客の訪問先（上位25位）	24
【文化】世界文化遺産，京町家の分布状況	25
【文化】寺社の分布状況	26
【公共交通】公共交通のネットワーク状況	27

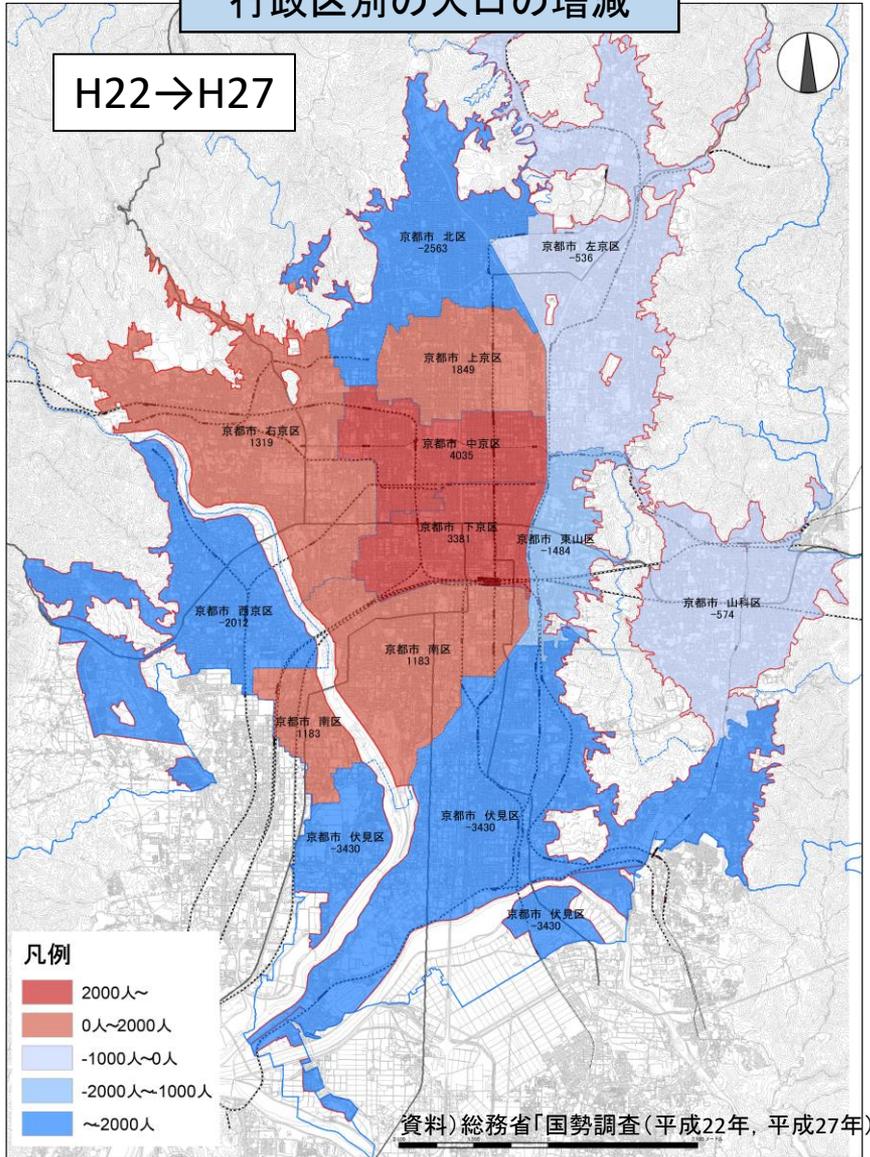
# 【定住人口】人口集中地区, 行政区別の人口増減(H22→H27)

人口集中地区の状況



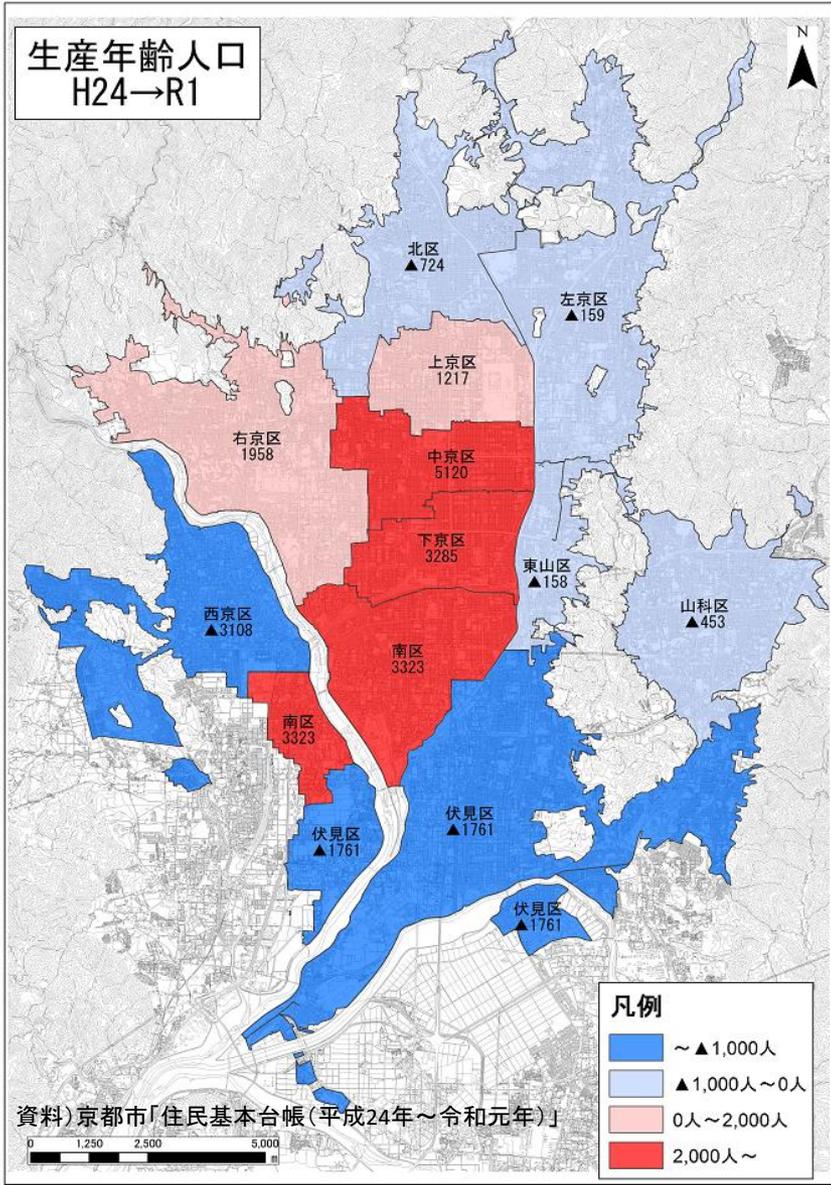
人口集中地区は、市街化区域とほぼ同じ人口密度も約98人/haと高い

行政区別の人口の増減

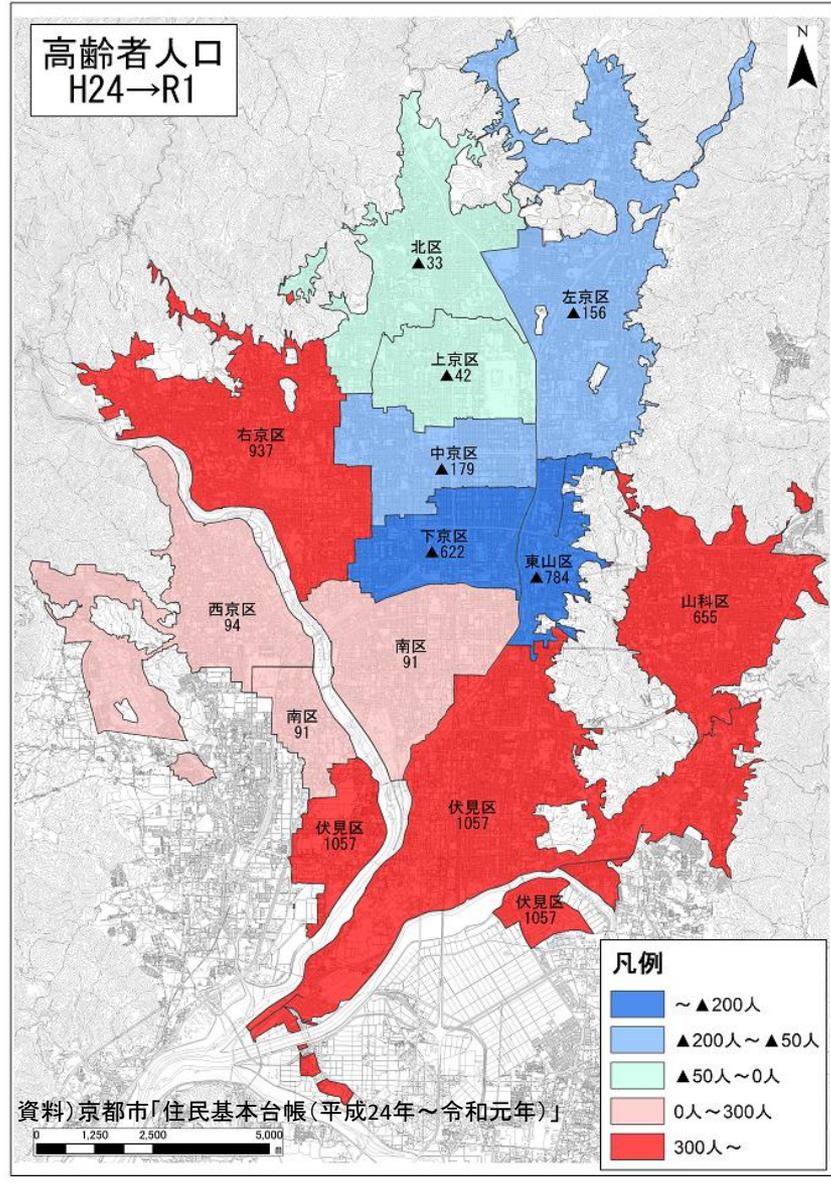


市内中心部では人口が増加  
周辺部では減少

# 【定住人口】行政区別の社会動態の推移(H24→R1)



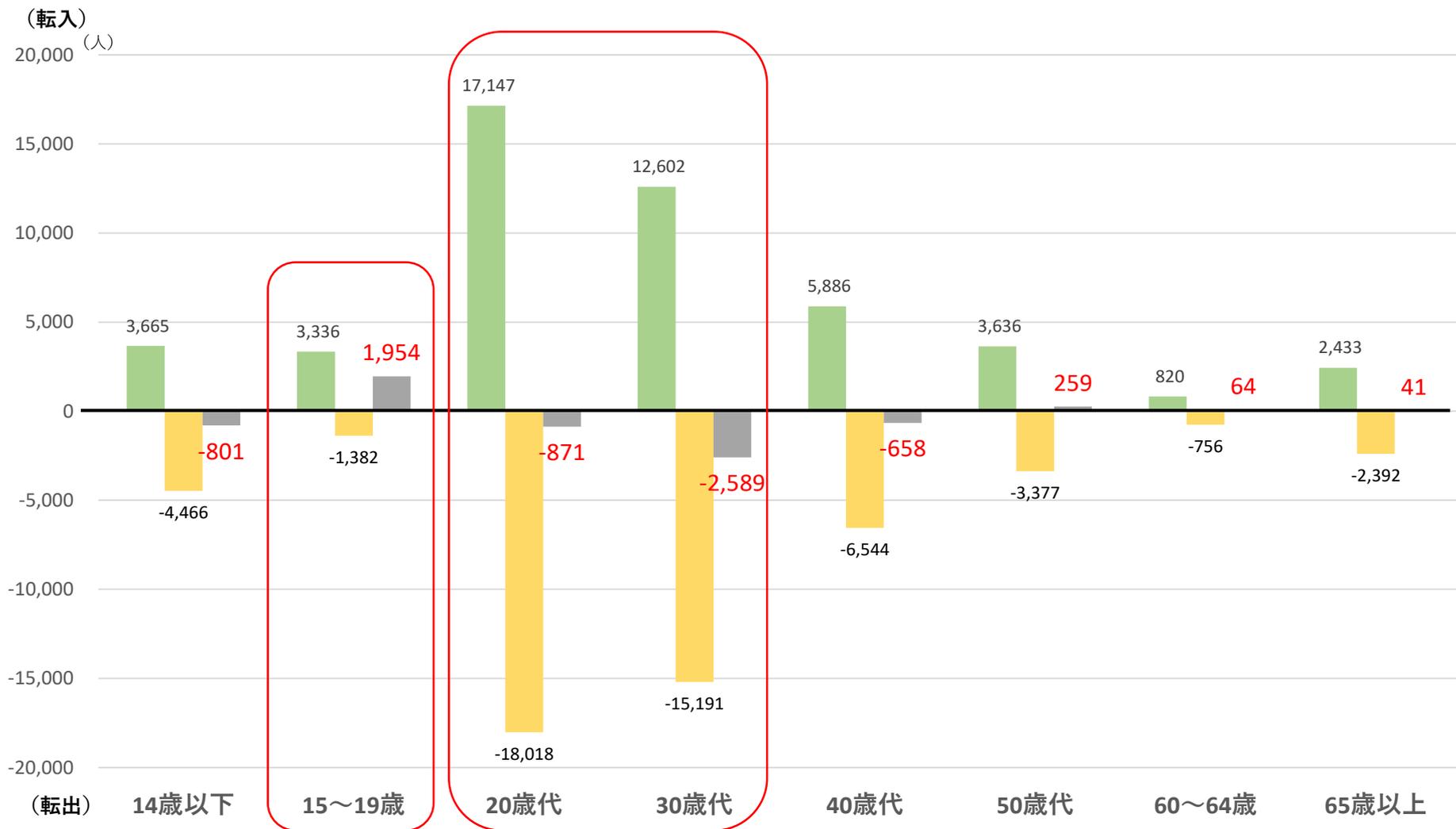
市内中心部では生産年齢人口が転入超過  
周辺部では転出超過



高齢者人口は周辺部で転入超過  
中心部では転出超過

# 【定住人口】社会動態《年代別》(R1)

- 大学入学期にあたる，15～19歳が転入している。
- 就職・子育て・住宅購入期にあたる，20歳代・30歳代が転出している。



※日本人のみ 市内移動を除く。

■ 転入 ■ 転出 ■ 増減

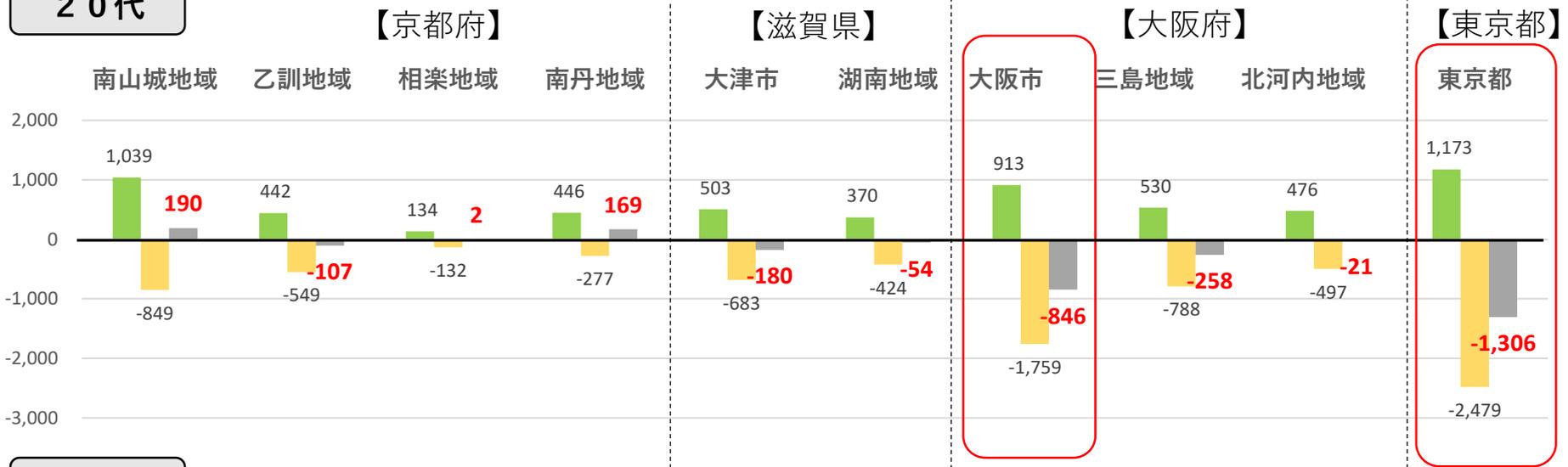
資料) 京都市「住民基本台帳 (令和元年)」

※前年10月から当年9月末の年計

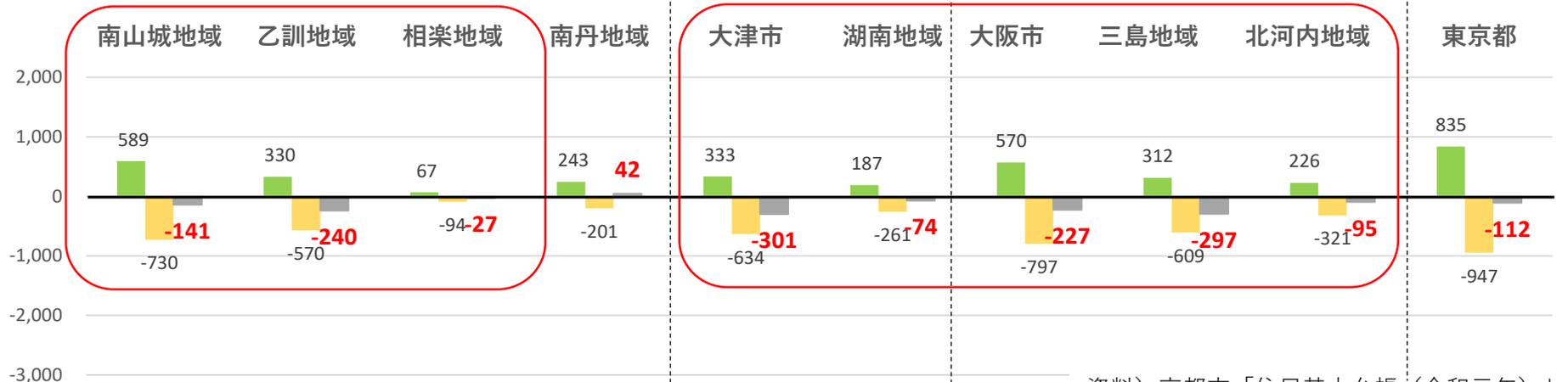
# 【定住人口】社会動態《20・30歳代・周辺市町別》(R1)

○ 20代は、東京都・大阪市へ大きく転出超過である。  
 ○ 30代は、周辺市町へ全体的に転出超過である。

## 20代



## 30代



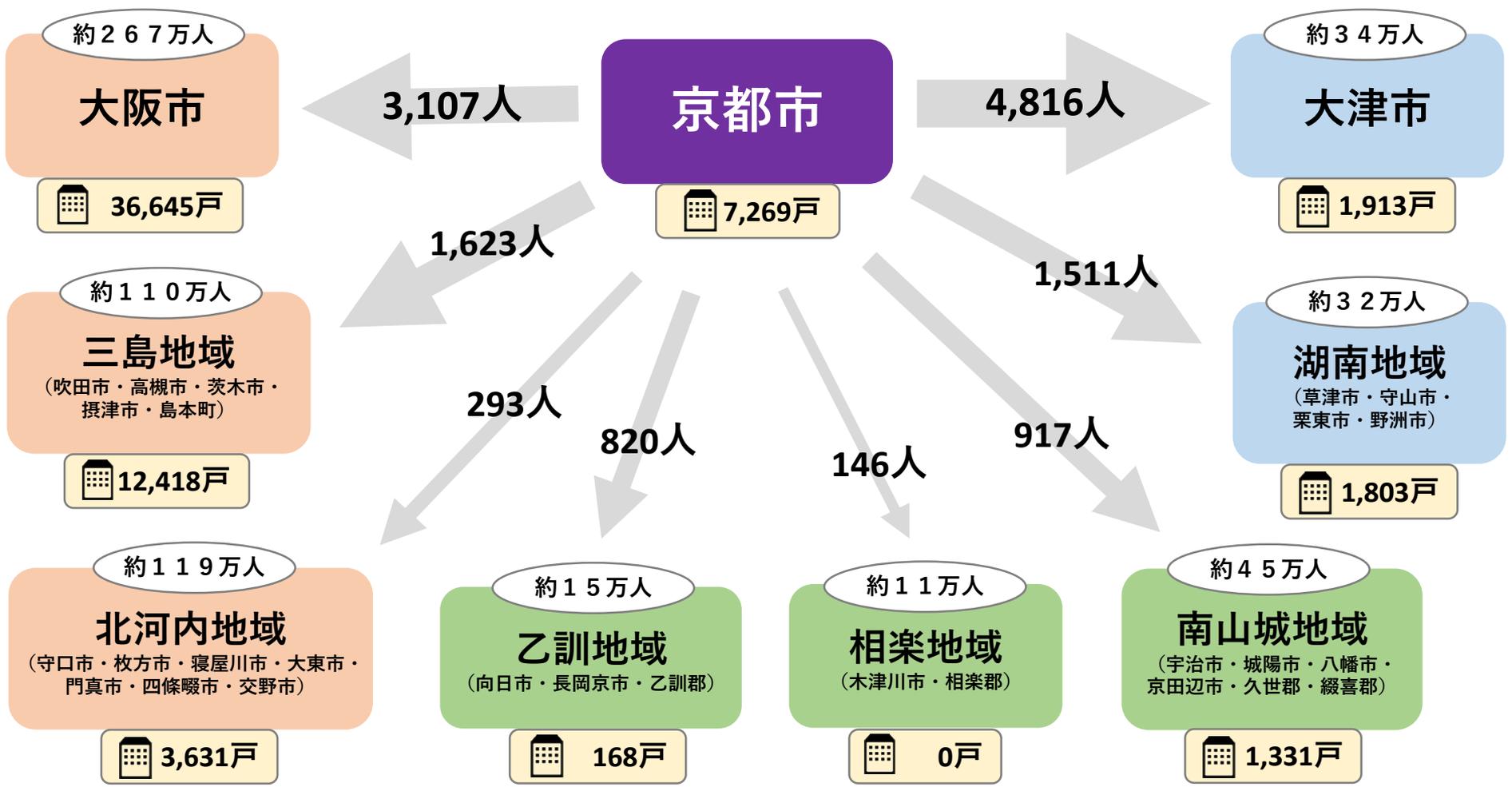
■ 転入 ■ 転出 ■ 増減

資料) 京都市「住民基本台帳(令和元年)」

※前年10月から当年9月末の年計

# 【定住人口】周辺市町への社会動態と住宅開発動向(H21~H25)

○マンション開発の旺盛な隣接地域等に対して，転出超過の傾向である。

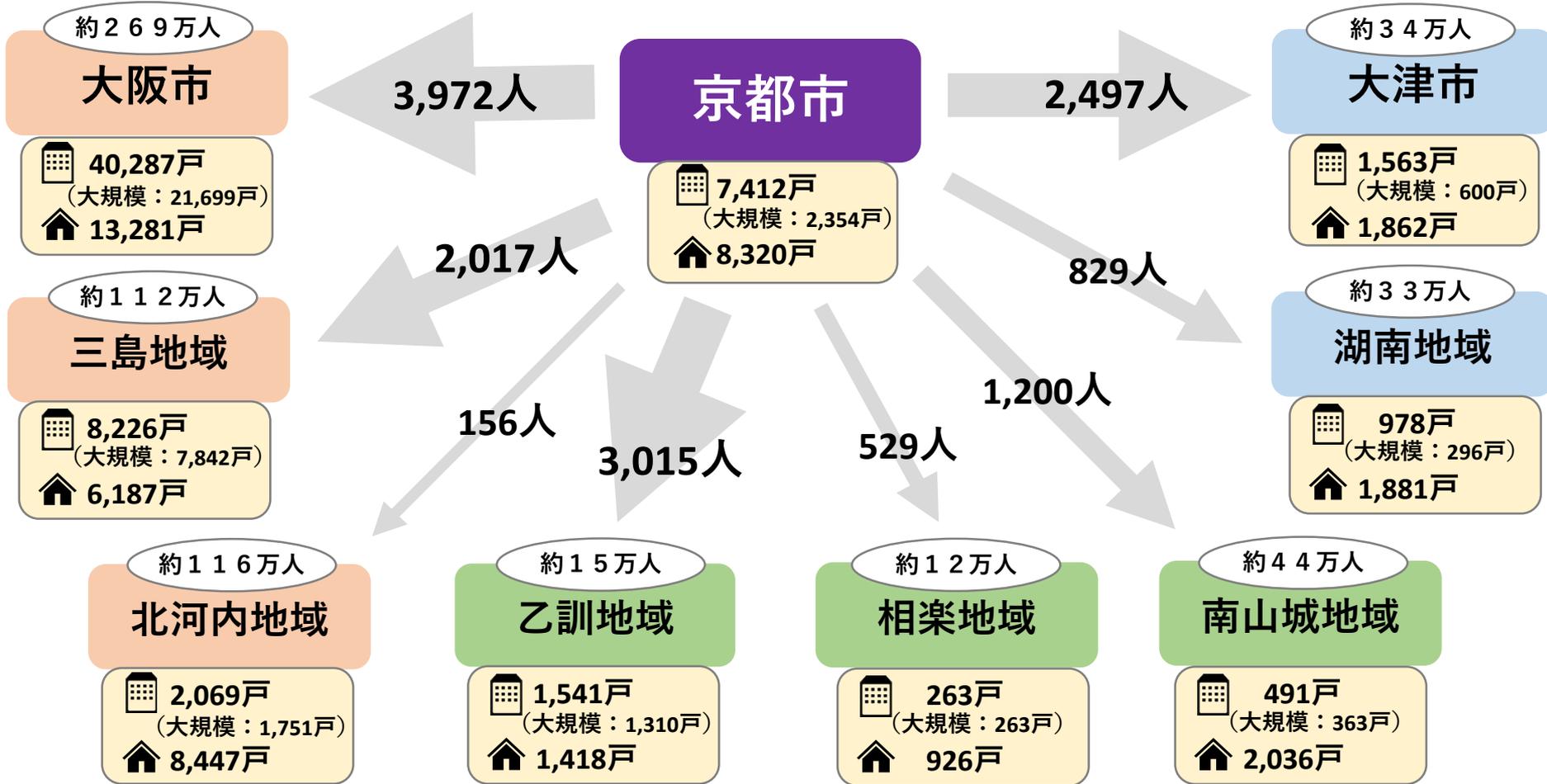


【凡例】 ← : 転出超過    🏠 : 当該年度に供給されたマンション戸数  
 ○ : 人口規模 (総務省「国勢調査」(平成22年))

※社会動態: 京都市「住民基本台帳(平成21~25年) ※前年10月から当年9月末の年計」  
 ※マンションの戸数: 不動産経済研究所「全国マンション市場動向(2009~2013年)」の発売戸数

# 【定住人口】周辺市町への社会動態と住宅開発動向(H26～H30)

○マンション開発の旺盛な隣接地域等に対して，転出超過の傾向である。



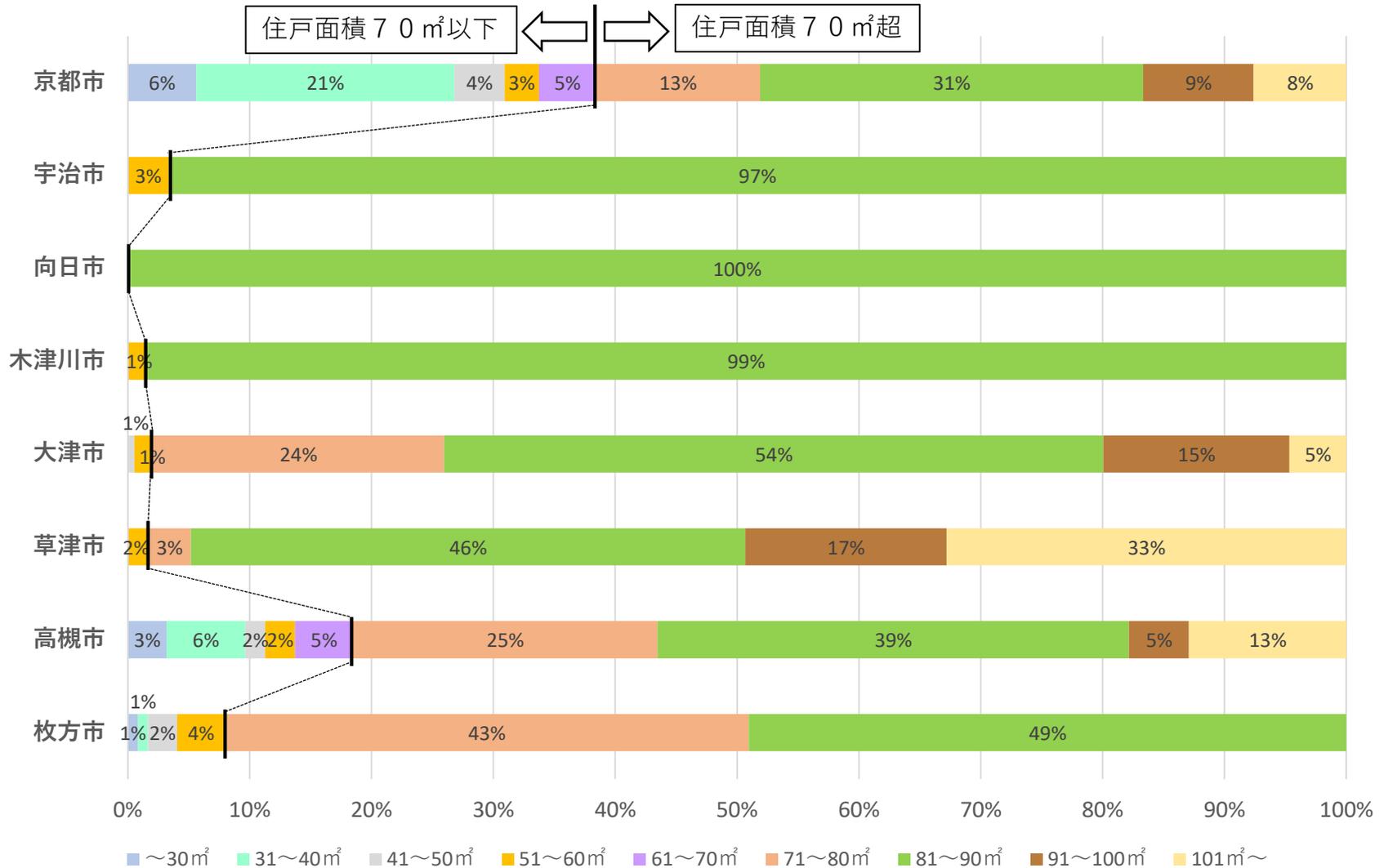
【凡例】 ← : 転出超過    🏢 : 当該年度に供給されたマンション戸数(大規模:100戸以上のマンション)  
 ○ : 人口規模 (総務省「国勢調査」(平成27年))    🏠 : 当該年度に供給された分譲住宅(戸建)

※社会動態:京都市「住民基本台帳(平成26～30年)※前年10月から当年9月末の年計」  
 ※マンションの戸数:不動産経済研究所「全国マンション市場動向(2014～2018年)」の発売戸数  
 ※大規模マンションの戸数:住友不動産販売のサイト「マンションライブラリー」に掲載されたマンションから算出  
 ※分譲住宅(戸建):国土交通省「住宅着工統計」の利用関係が「分譲住宅」のうち、構造が《木造》であるもの(乙訓郡、相楽郡、久世郡、綴喜郡、島本町を除く。)

# 【住環境】マンションの住戸面積《周辺市比較》(H26～R1)

○京都市は、周辺市に比べて70㎡超の住戸の占める割合が低い。

(平成26年～令和元年に建てられた分譲マンション戸数のうち、当該面積の住戸が占める割合)

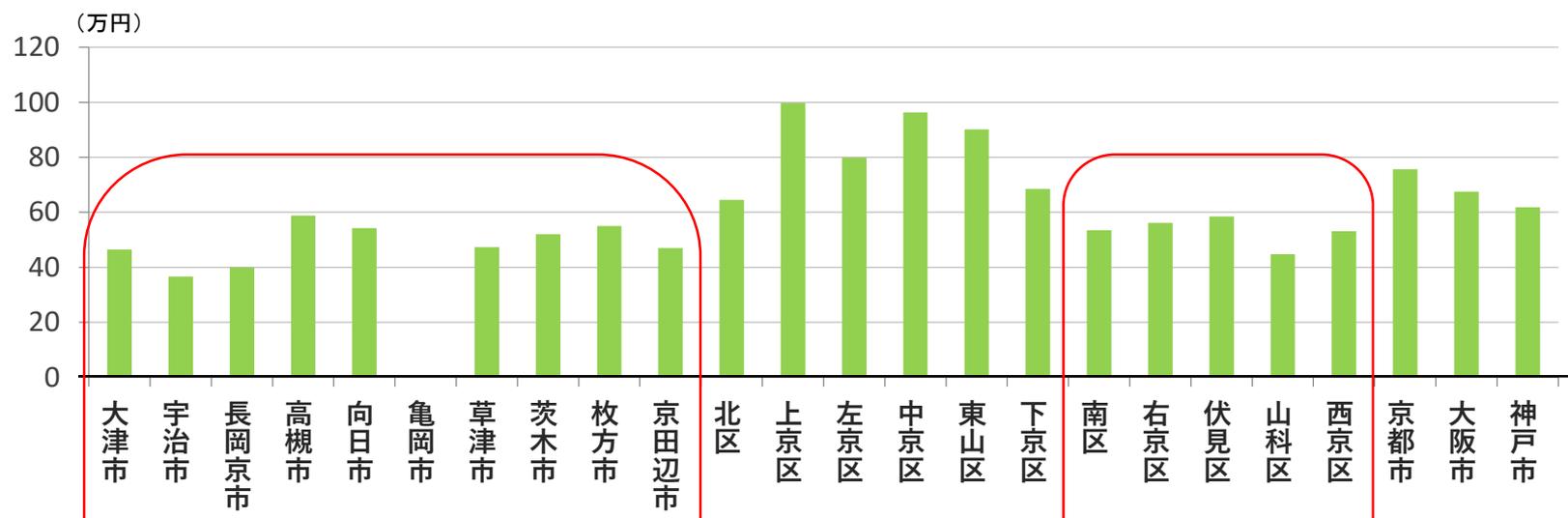


資料) 国土交通省「住宅着工統計(平成26年～令和元年)」

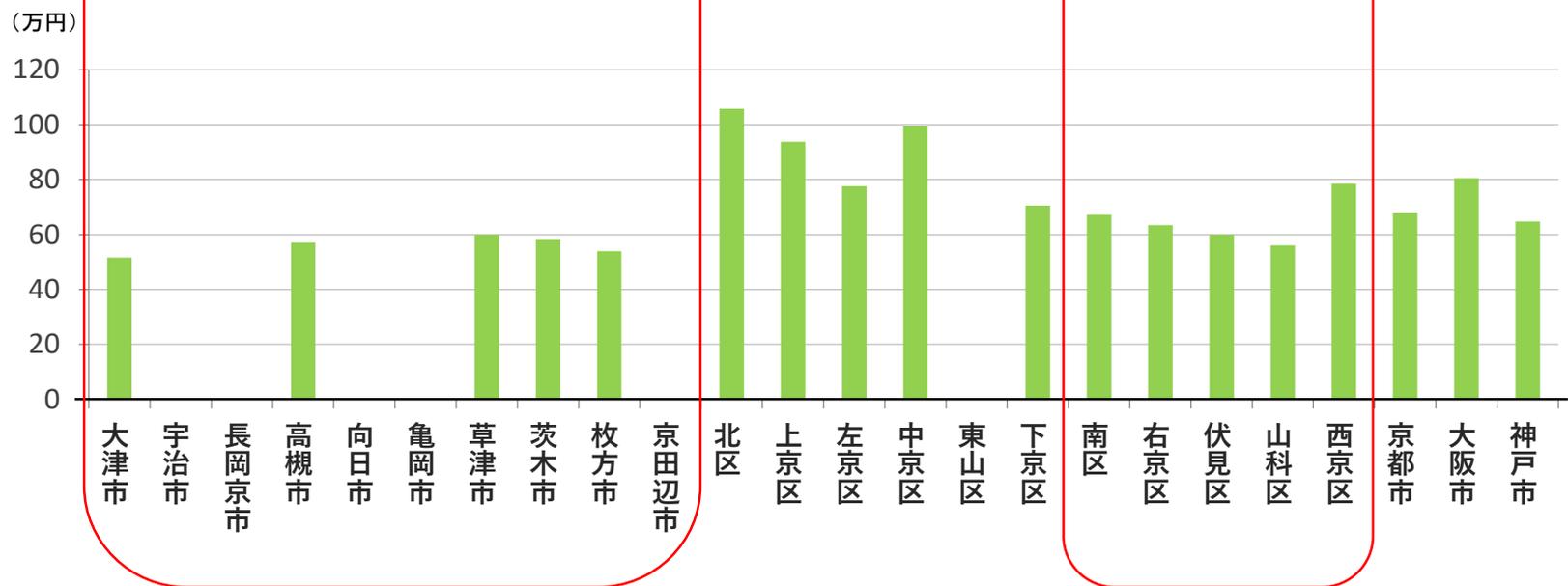
# 【住環境】マンションの平均価格(㎡単価)《周辺市比較》(H29→R1)

○京都市周辺部と周辺市町との価格差は目立たない。

H 2 9



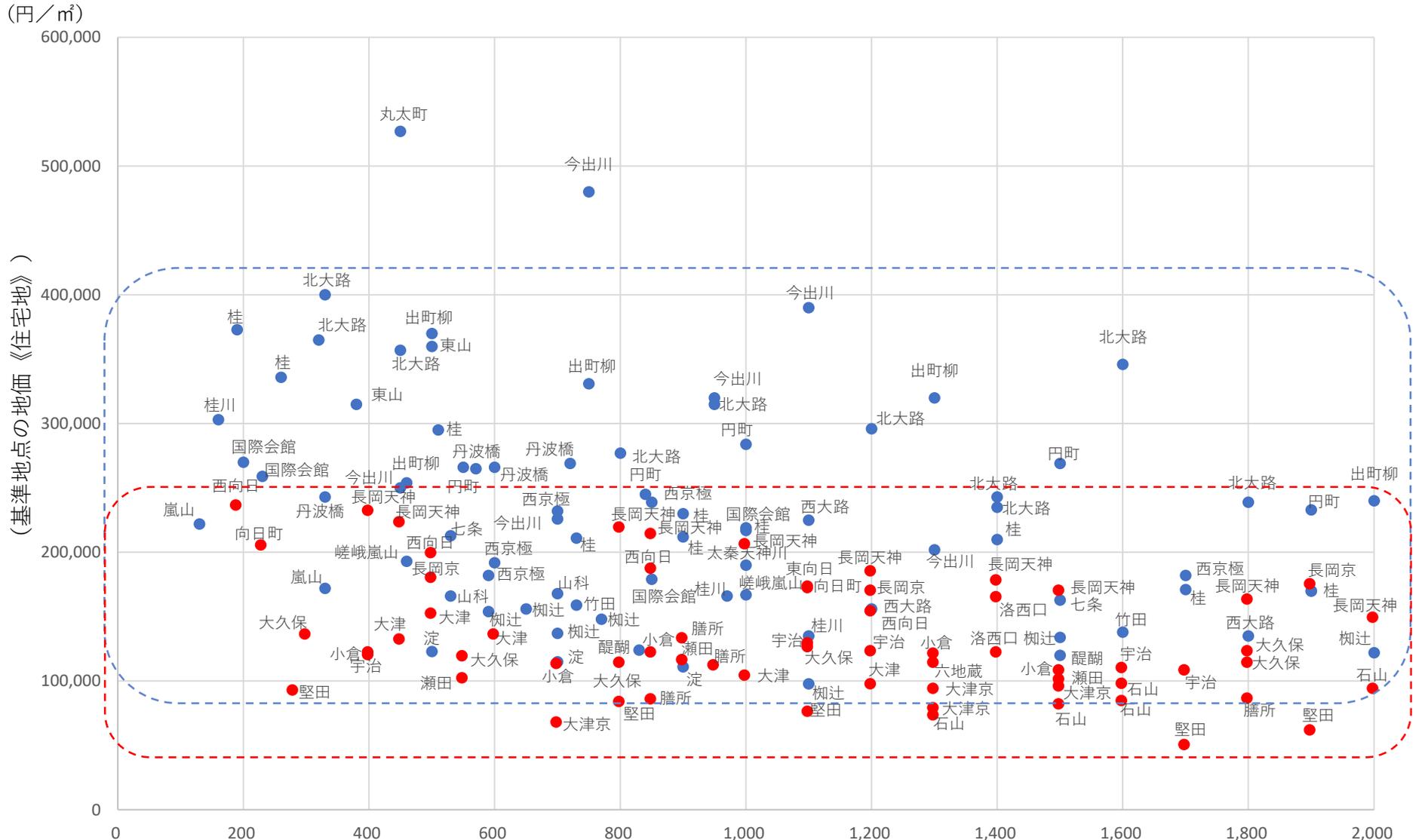
R 1



資料) 不動産経済研究所「全国マンション市場動向」(平成29年, 令和元年)

# 【住環境】住宅地の地価(㎡単価)《周辺市比較》(H30)

○概ね京都市は100,000～400,000円/㎡、周辺市は50,000～250,000円/㎡に分布している。



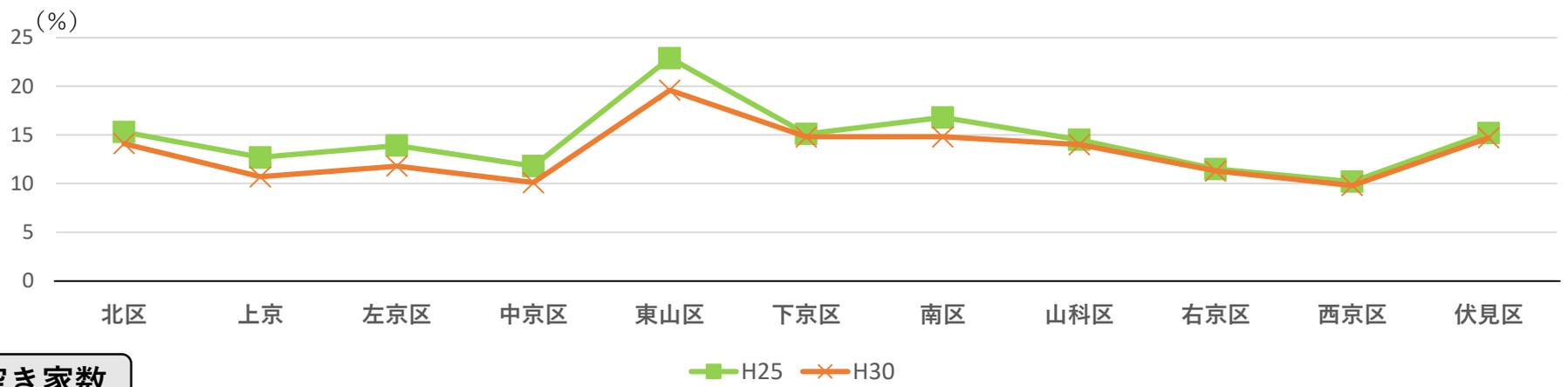
(基準地点から最寄り駅までの距離) ※プロット上の駅名は、基準地点の最寄り駅を示す。(m)

●: 京都市 (地域中核拠点) ●: 周辺市 (宇治市, 向日市, 長岡京市, 大津市) ※乗客数が概ね300万人/年以上の駅を抽出

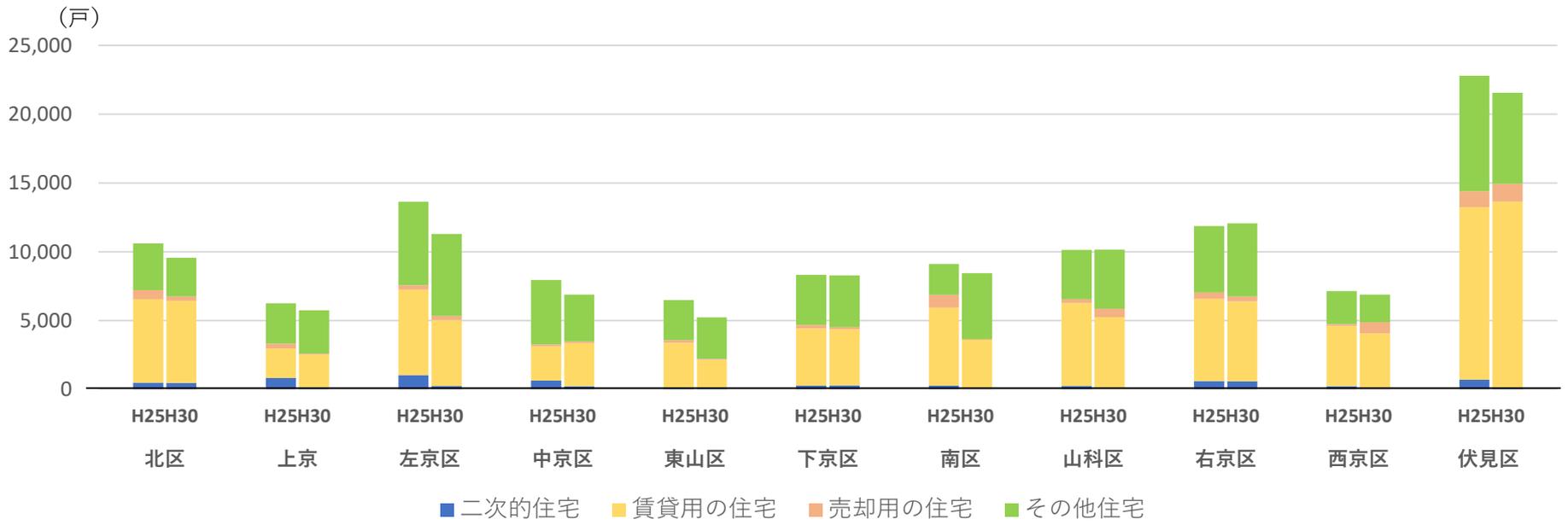
# 【住環境】空き家率と空き家数の推移《行政区別》(H25→H30)

○ほぼ全市的に、空き家率、空き家数とも減少傾向である。

## 空き家率



## 空き家数

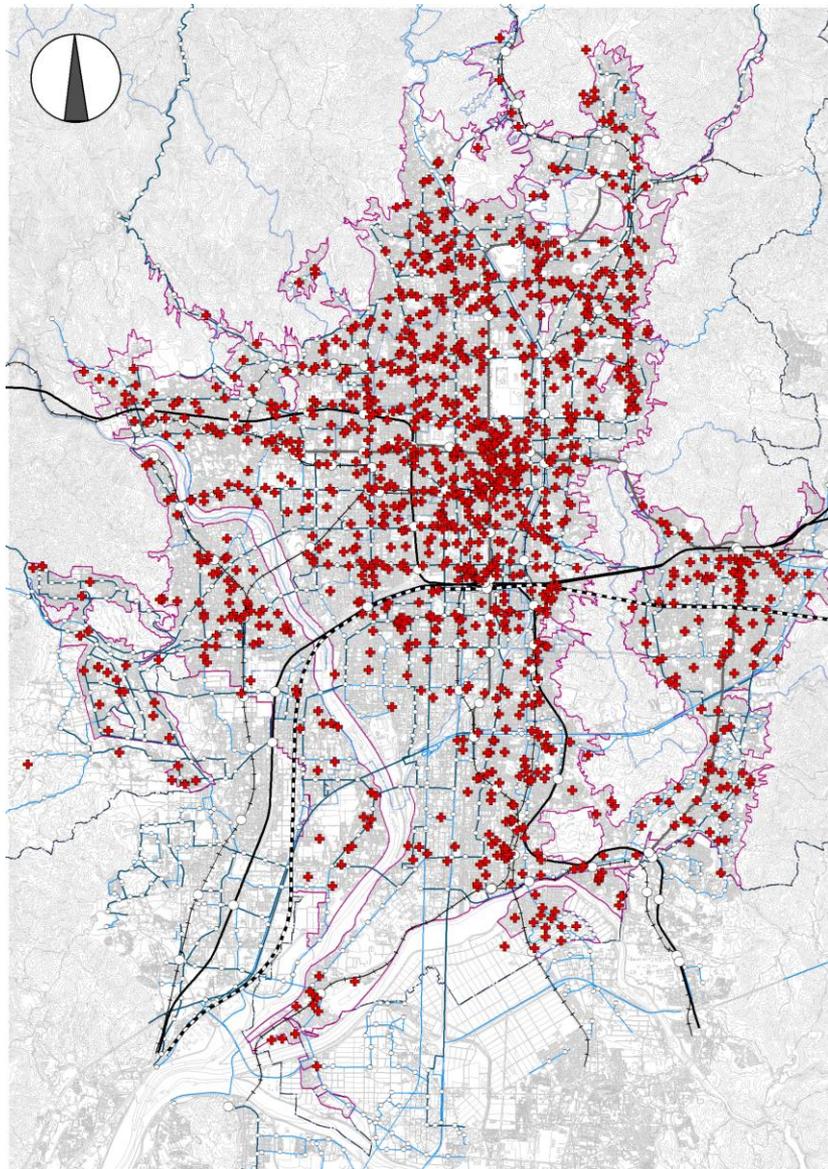


資料) 総務省「住宅・土地統計調査 (平成25年, 30年)」

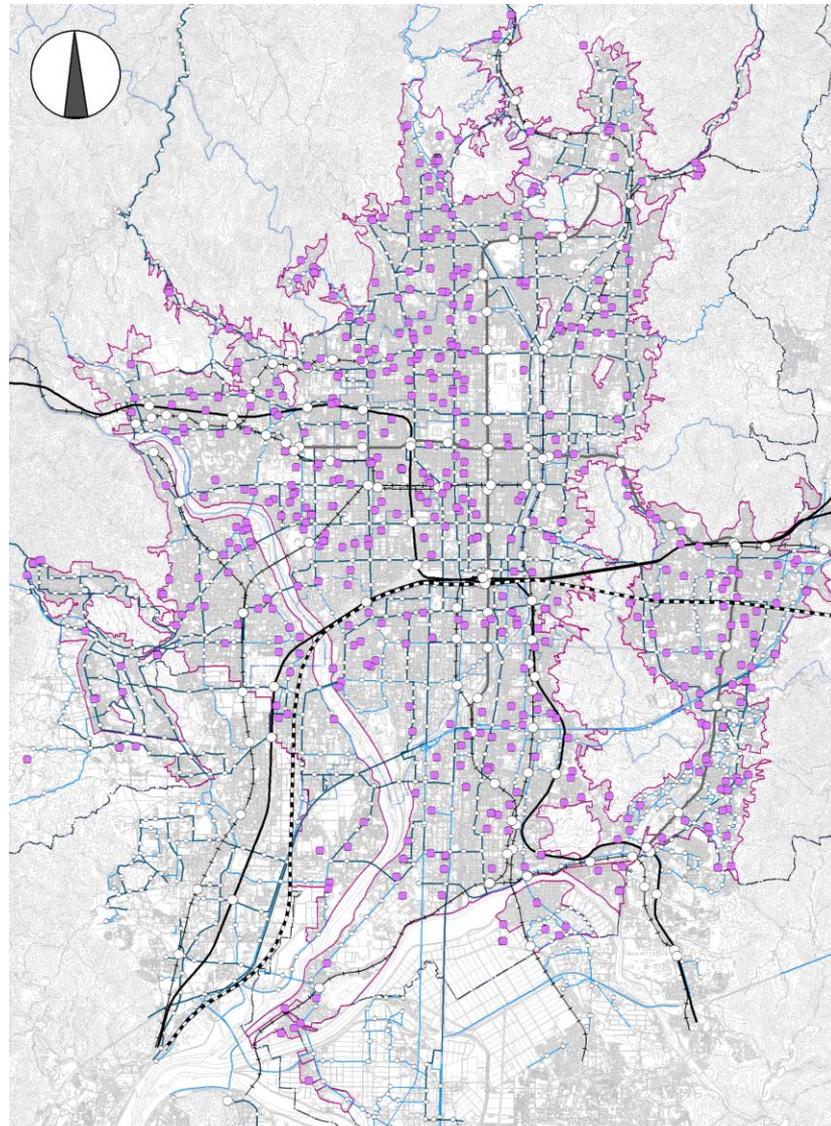
# 【住環境】日常生活に必要な施設《医療・福祉》

○日常生活に必要な医療，福祉は広域的に分布している。

【医療】 医療施設の立地状況



【福祉】 高齢者福祉施設の立地状況

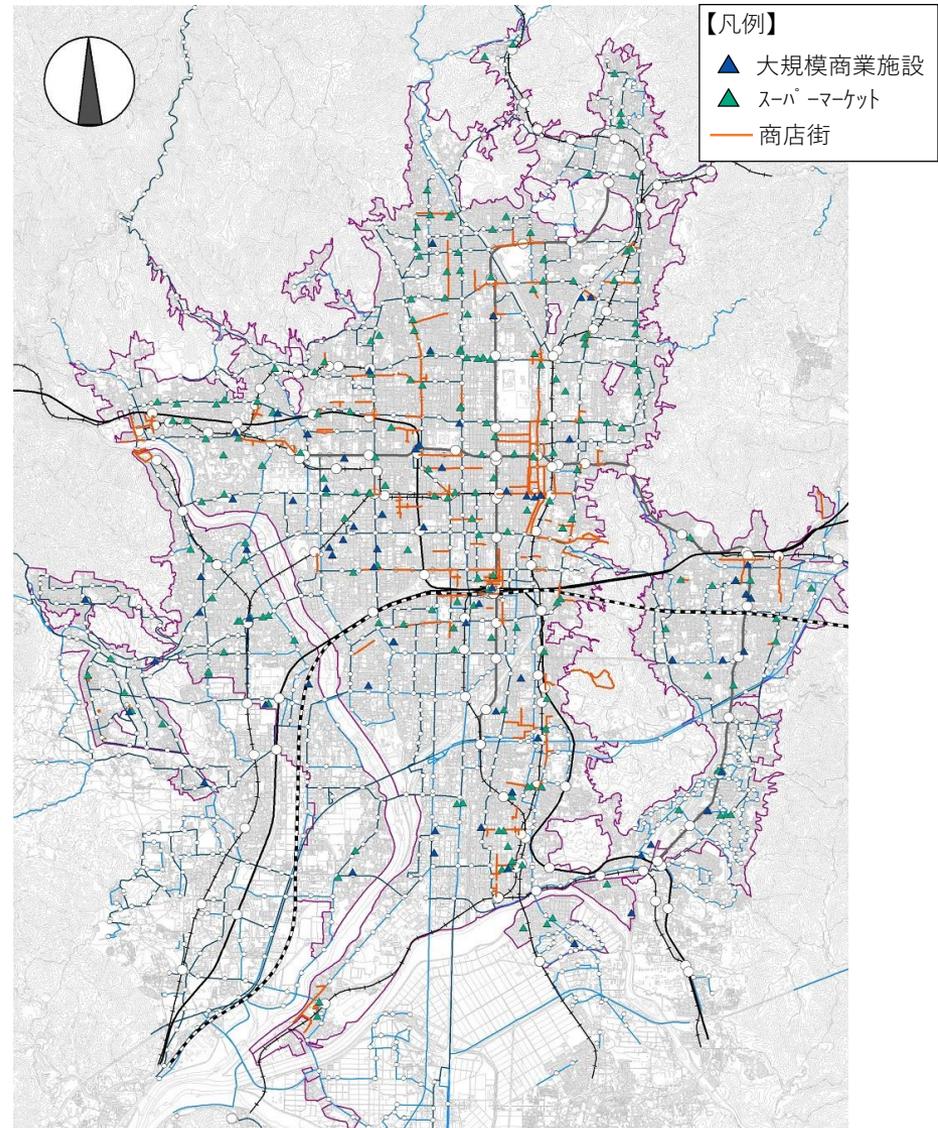


資料) 国土交通省「国土数値情報(福祉施設データ)」

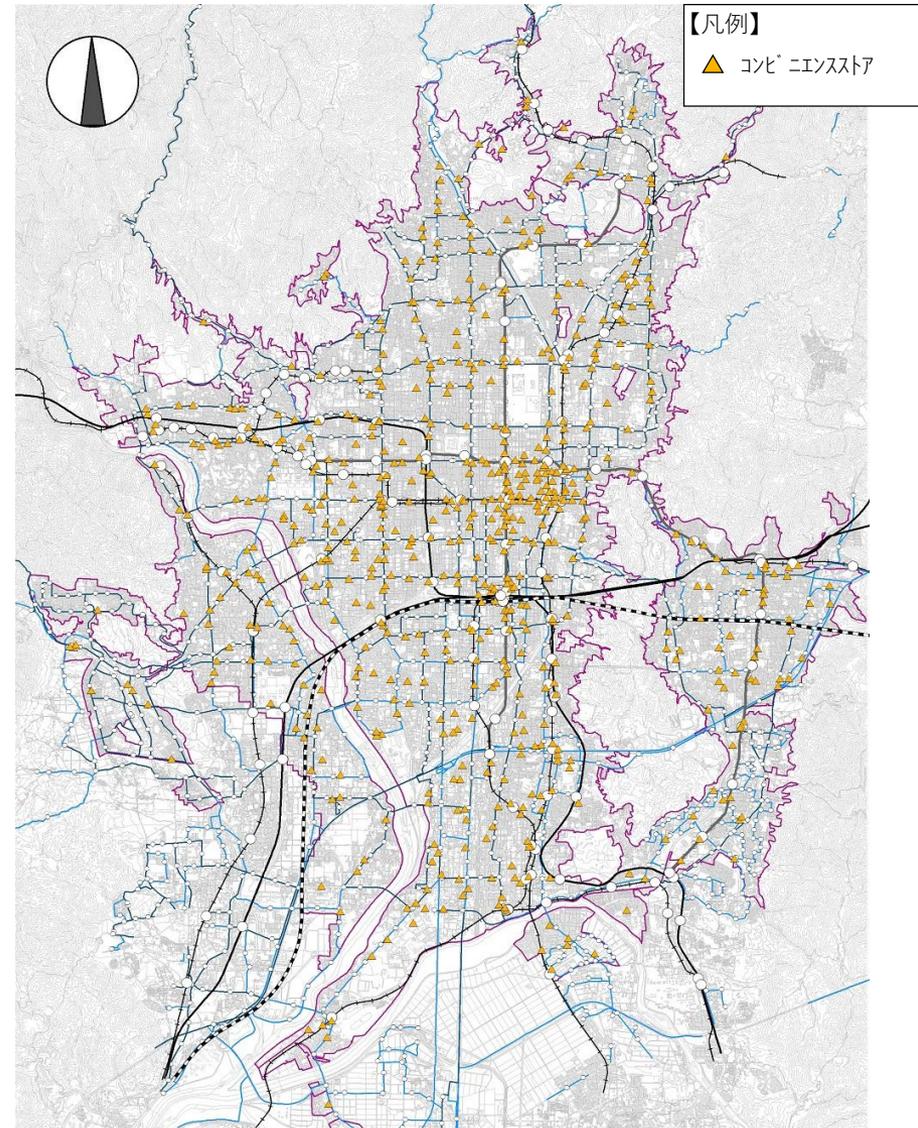
# 【住環境】日常生活に必要な施設《商業施設》

○日常生活に必要な商業施設は広域的に分布している。

### 大規模商業施設、スーパーマーケットの立地状況



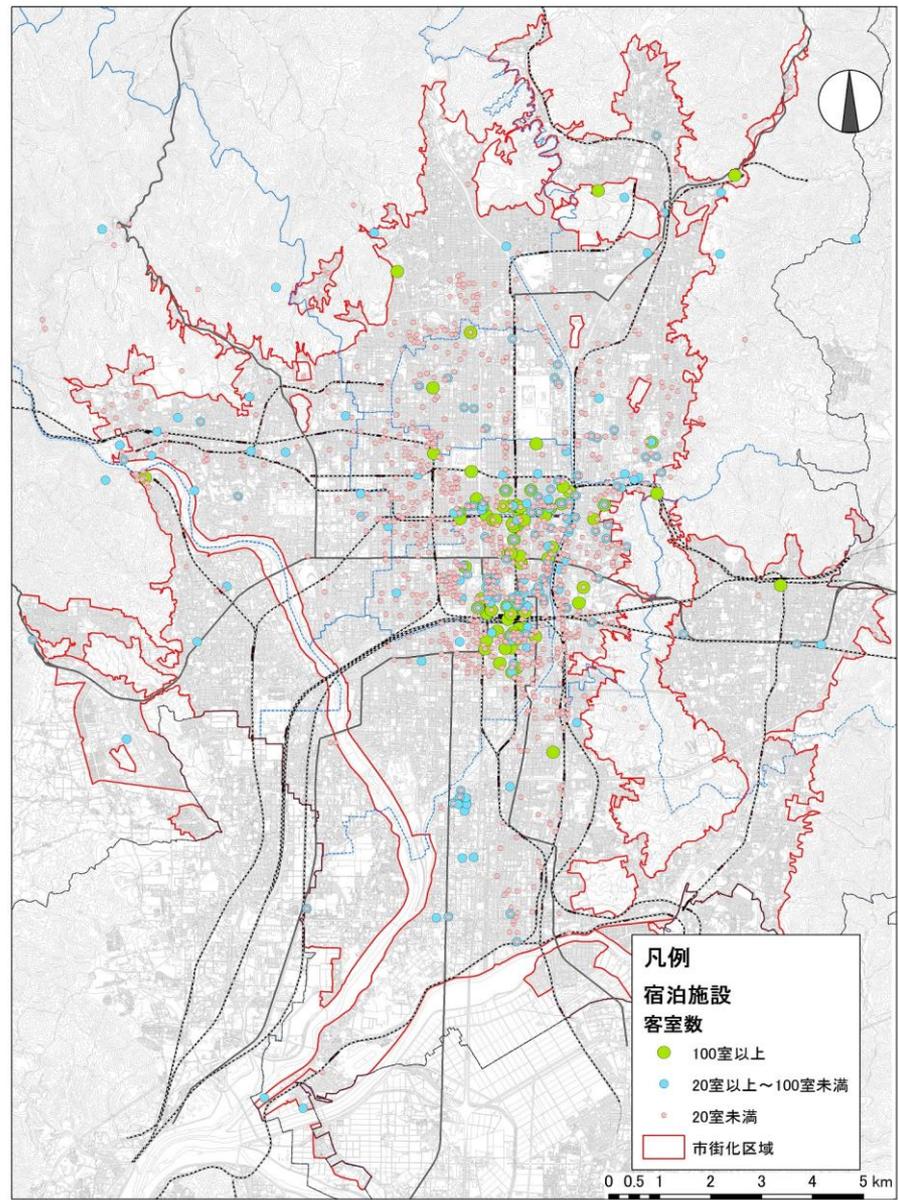
### コンビニエンスストアの立地状況



資料) NTTタウンページ(株)「iタウンページ」に掲載の大規模商業施設、スーパーマーケット、コンビニエンスストアを基に本市作成

# 【住環境】宿泊施設の立地状況

大規模な宿泊施設は都心部に集中している。



資料) 京都市「旅館業許可台帳」  
を基に本市作成

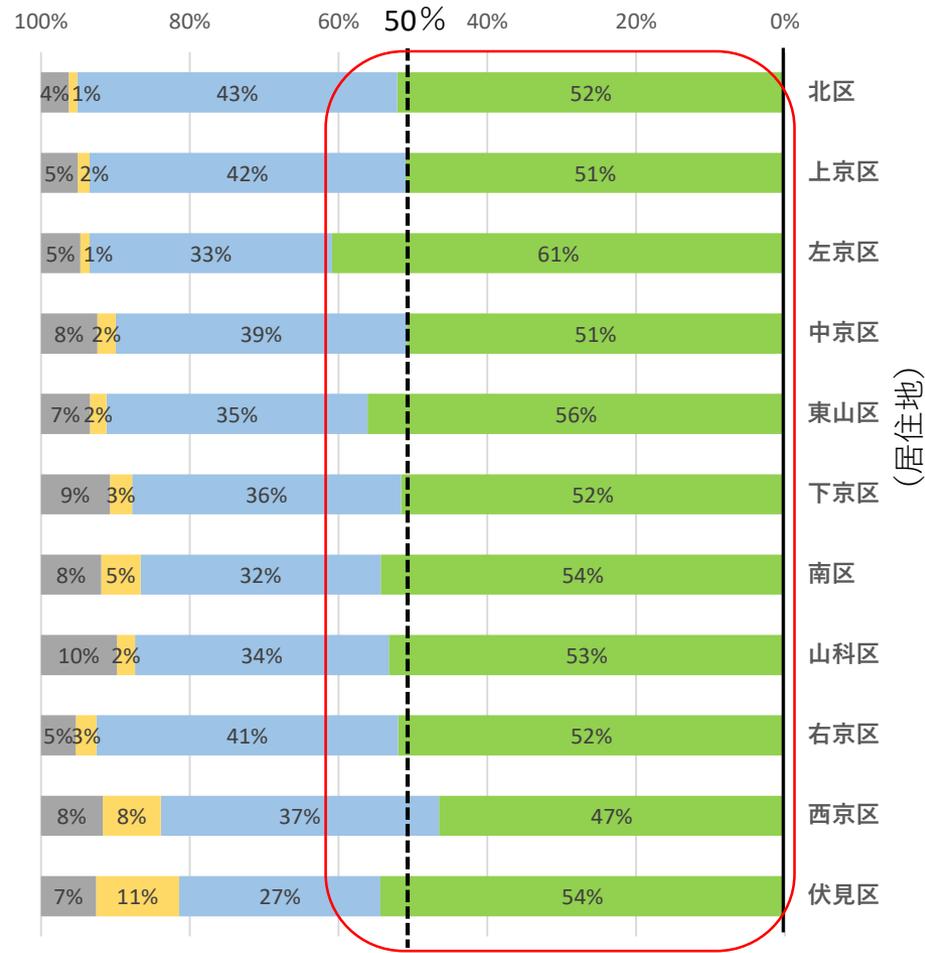
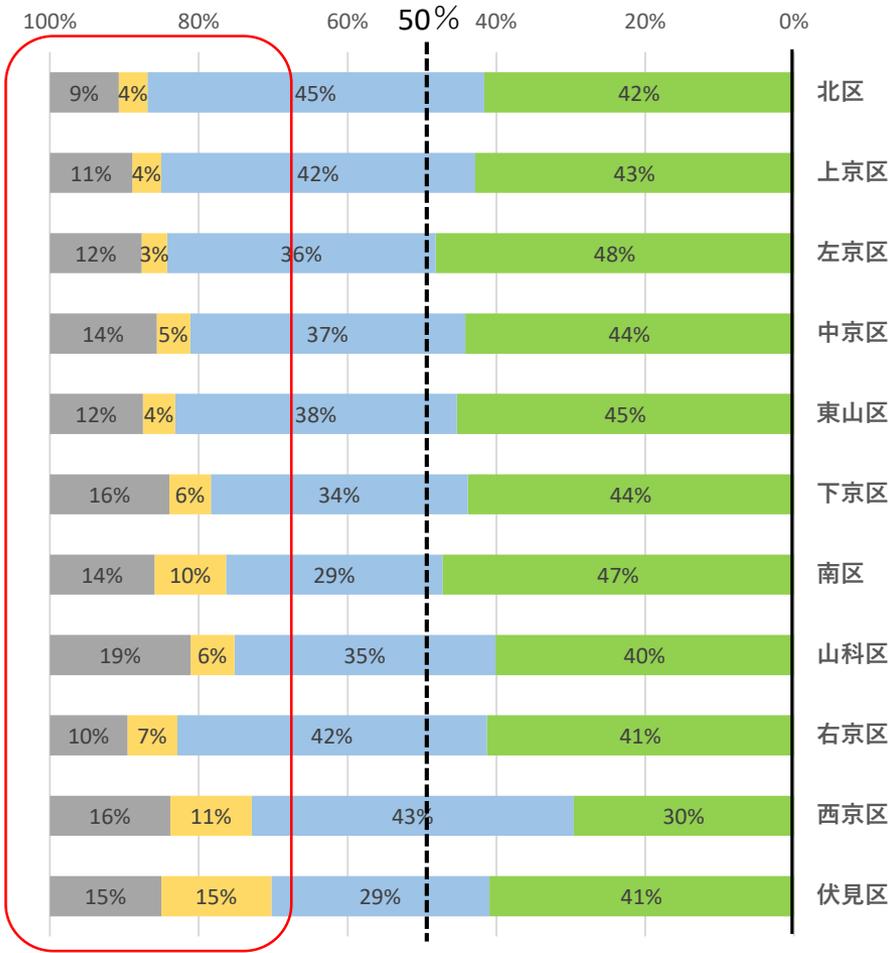


# 【昼夜間人口】就業者人口《行政区別・市内居住者の就業地比率》(H27)

○女性は概ね半数以上が自区内で就業している。  
 ○男性の方が京都市外で働く割合が高い。

男性

女性



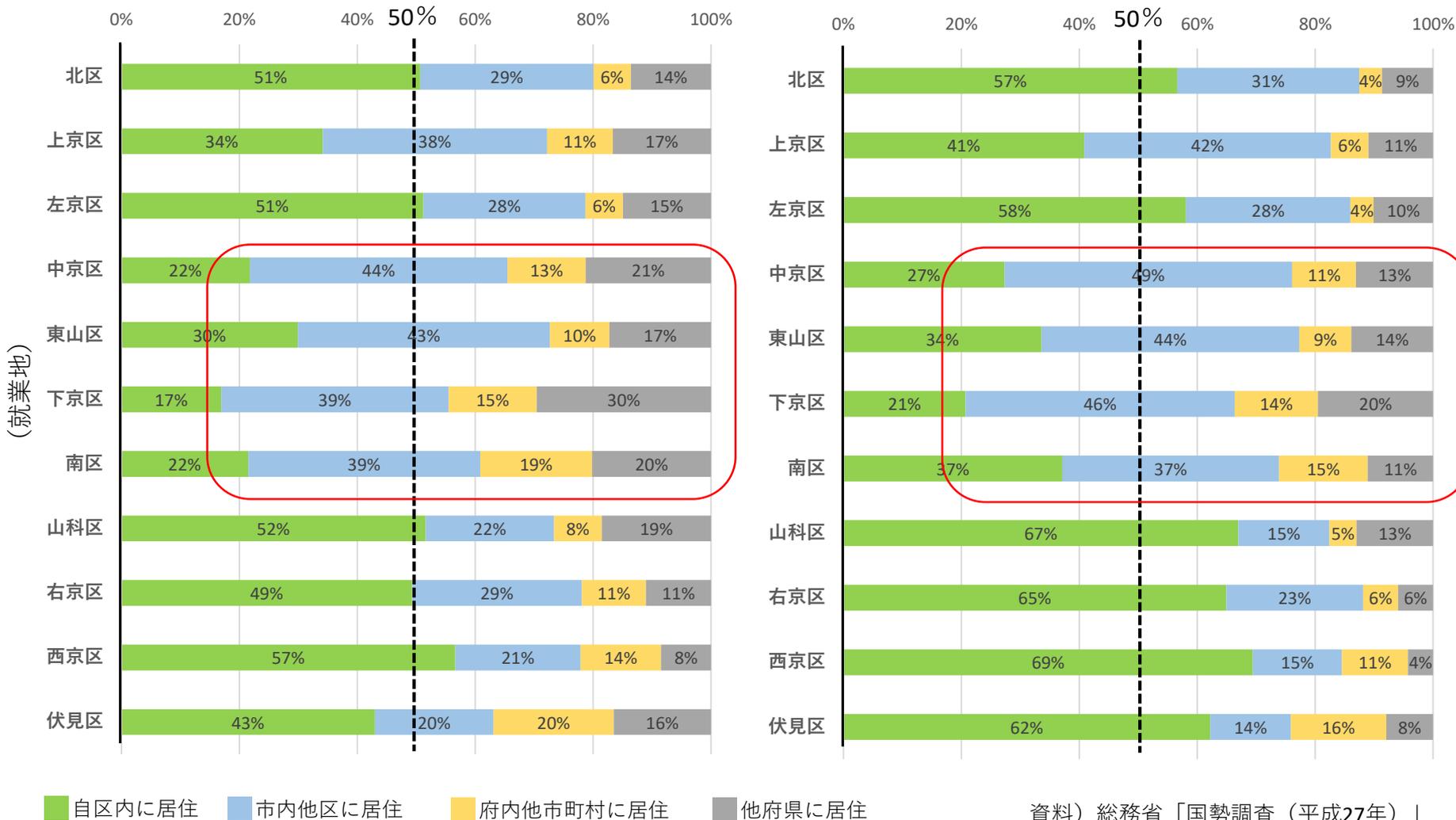
他府県で就業    府内他市町村で就業    市内他区で就業    自区内で就業

# 【昼夜間人口】就業者人口《行政区別・市内就業者の居住地比率》(H27)

○都心部では、自区外からの就業者の割合が高い。

男性

女性

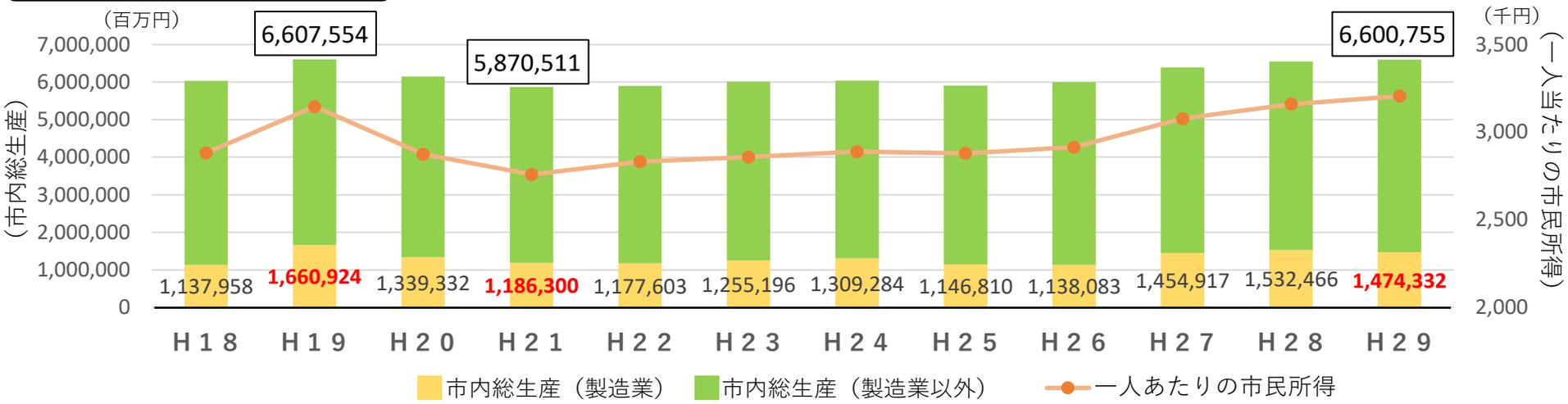


資料) 総務省「国勢調査(平成27年)」

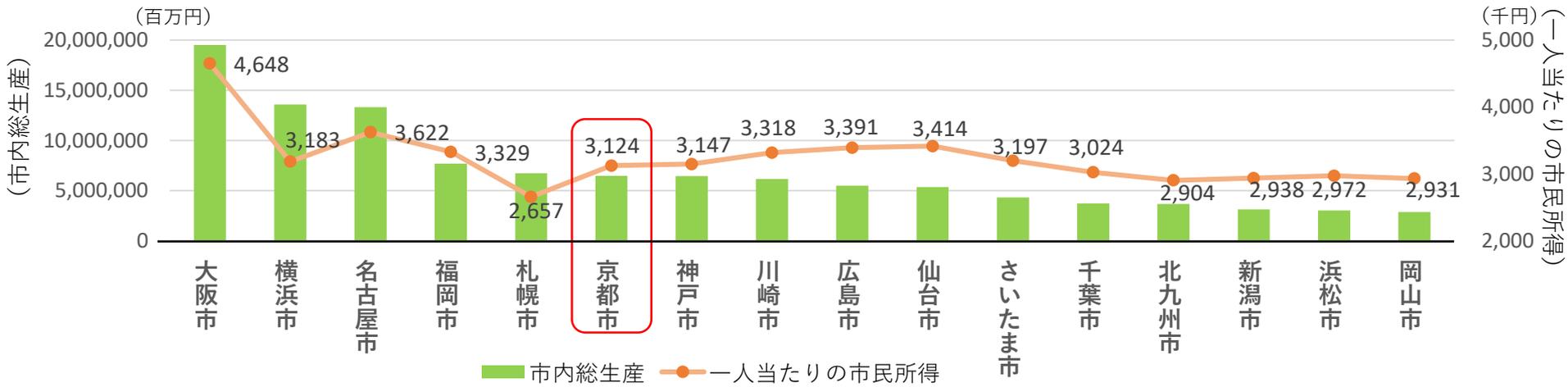
# 【産業・働く場】市内総生産・一人当たりの市民所得《推移》《政令市比較》

○市内総生産は、リーマンショックによる落ち込みから回復しているが、製造業は回復が鈍い。  
 ○市内総生産は16政令市中6番目、一人当たりの市民所得は9番目である。

## 京都市の推移



## 政令市比較

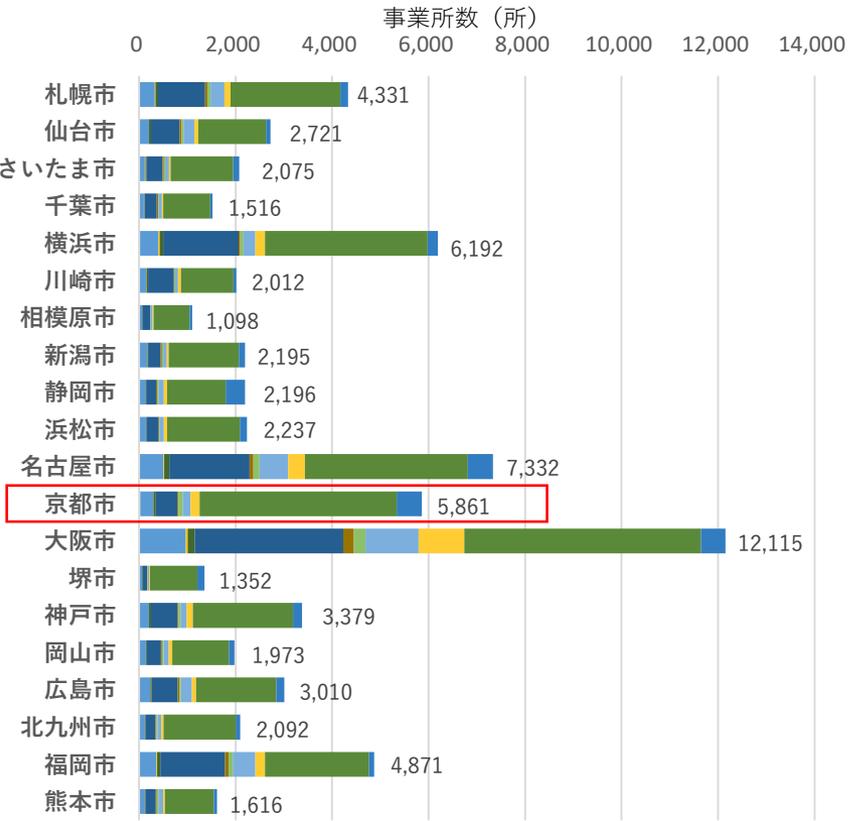


資料) 京都市「平成29年度市民経済計算」  
 資料) 内閣府「県民経済計算(平成18年度-平成28年度)」, 各都市「平成28年度市民経済計算」

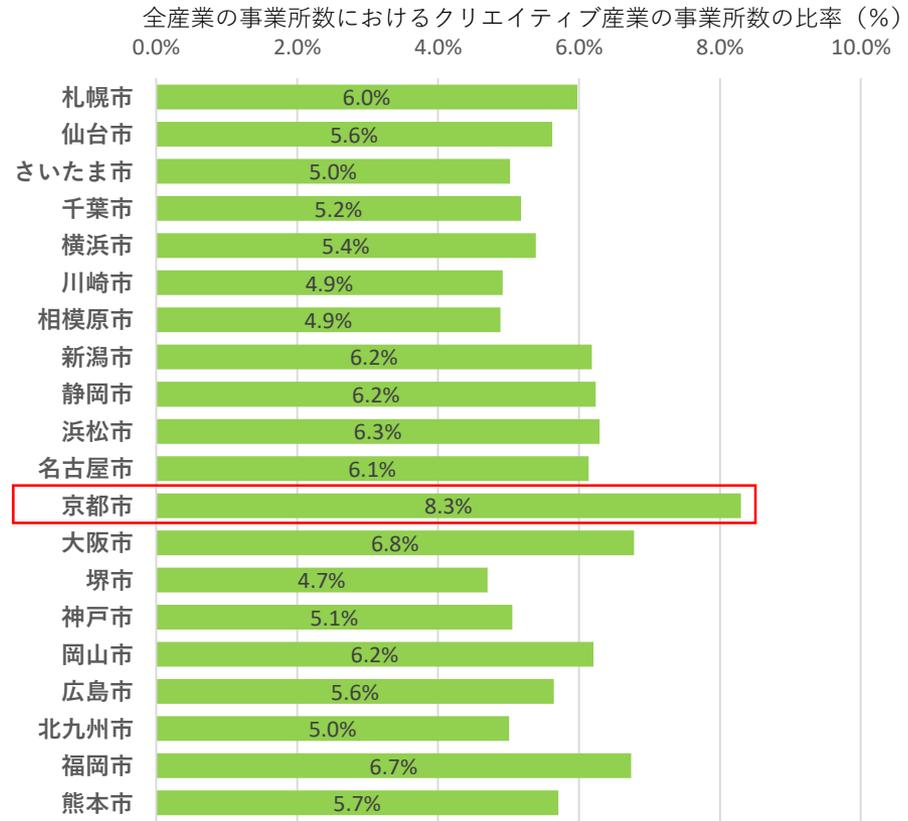
# 【産業・働く場】クリエイティブ産業の事業数《政令市比較》(H28)

○本市のクリエイティブ産業の事業所数は、20政令市中4番目である。  
 ○クリエイティブ産業の事業所比率は、20政令市中一番高い。

## クリエイティブ産業の事業所数



## クリエイティブ産業の事業所比率



- 芸術
- 映画・映像・写真・アニメ
- 音楽
- 舞台芸術
- 情報サービス
- テレビ・ラジオ・報道
- 出版
- 広告
- デザイン
- ファッション
- 日用品・工芸品

資料) 総務省「経済センサス (活動調査) (平成28年)」

# 【都市圏・他都市】人口，産業《大都市比較》

- 人口集中地区の市域に占める割合が，東京・大阪に比べて限定的。
- 都心部の行政区では，昼間人口の規模や密度が，東京・大阪に比べて低い。

## <主要大都市との比較>

	面積 (km <sup>2</sup> )		夜間人口 (定住人口) (人)		人口密度 (人/km <sup>2</sup> )		昼間人口 (人)	事業所数 (事業所)	GDP (名目) (兆円)
	全体	人口集中地区	全体	人口集中地区	全体	人口集中地区			
京都市	827.83	143.62	1,475,183	1,407,087	1,782.00	9,797.30	1,608,216	70,637	6.6
特別区部	626.7 (0.8)	626.7 (4.4)	9,272,740 (6.3)	9,272,740 (6.6)	14,796.10 (8.3)	14,796.10 (1.5)	12,033,592 (7.5)	494,337 (7.0)	106.2 (16.1)
大阪市	225.21 (0.3)	224.22 (1.6)	2,691,185 (1.8)	2,690,732 (1.9)	11,949.70 (6.7)	12,000.40 (1.2)	3,543,449 (2.2)	179,252 (2.5)	20.4 (3.1)

## <人口密度が最も高い行政区 (特別区) の比較>

	面積 (km <sup>2</sup> )	夜間人口 (定住人口) (人)		昼間人口 (人)	
		人口密度 (人/km <sup>2</sup> )			
京都市 中京区	7.41	109,341	14,755.87	132,834	17,926.32
東京都 千代田区	11.66 (1.6)	58,406 (0.5)	5,009.09 (0.3)	528,216 (4.0)	45,301.54 (2.5)
大阪市 中央区	8.87 (1.2)	93,069 (0.9)	10,492.56 (0.7)	371,036 (2.8)	41,830.44 (2.3)

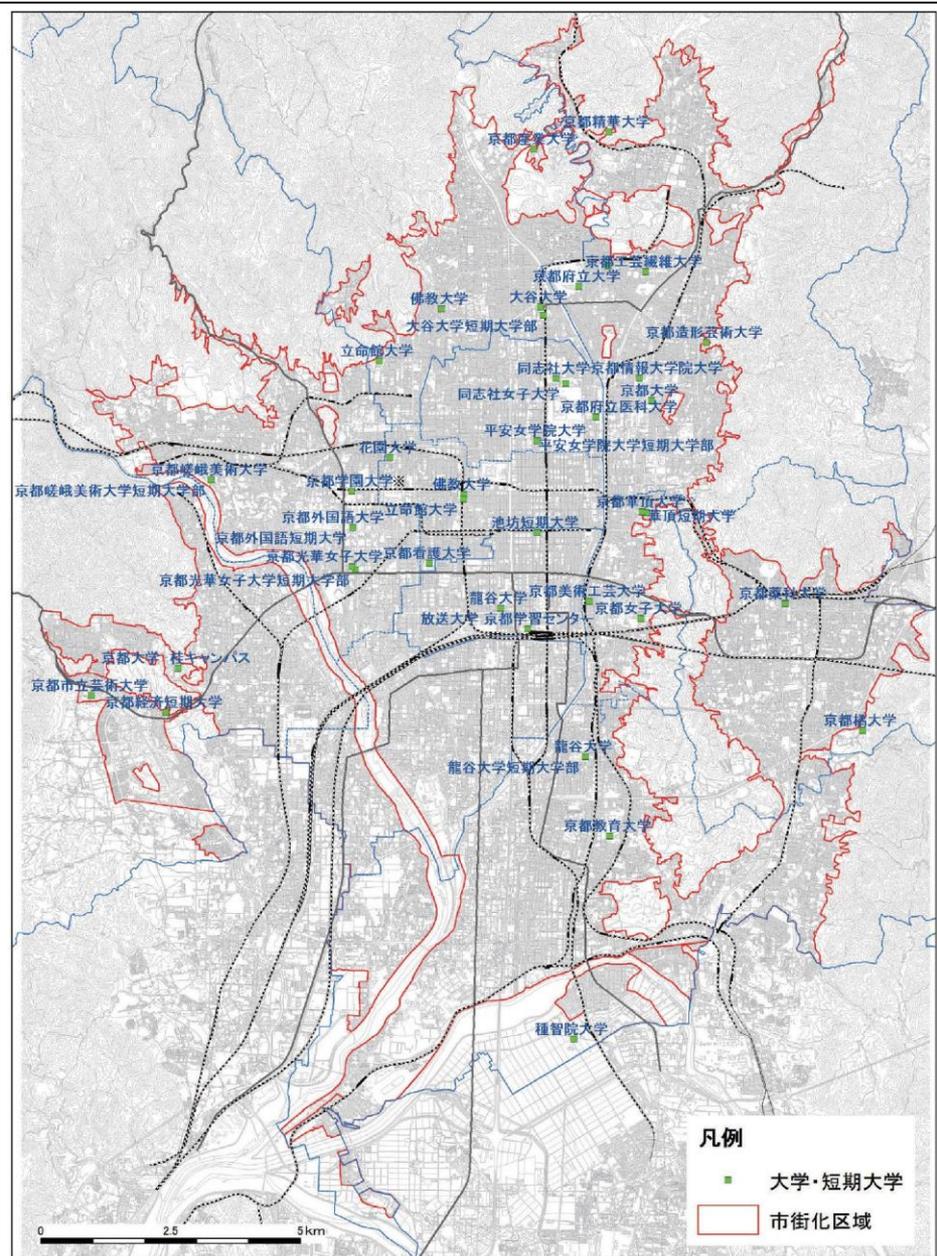
※ ( ) 内の数値は，京都市を1.00とした場合の換算値  
 ※ 特別区部の欄のGDP (名目) は，東京都全体のもの

資料) 総務省「国勢調査 (平成27年)」  
 総務省「経済センサス (活動調査) (平成28年)」  
 東京都「都民経済計算 (平成29年度)」  
 京都市，大阪市，神戸市「市民経済計算 (平成29年度)」



# 【大学】大学・短期大学の立地状況

市内に38の大学や短期大学が広範囲に立地し、公共交通の徒歩圏で利便性が高い分布となっている。



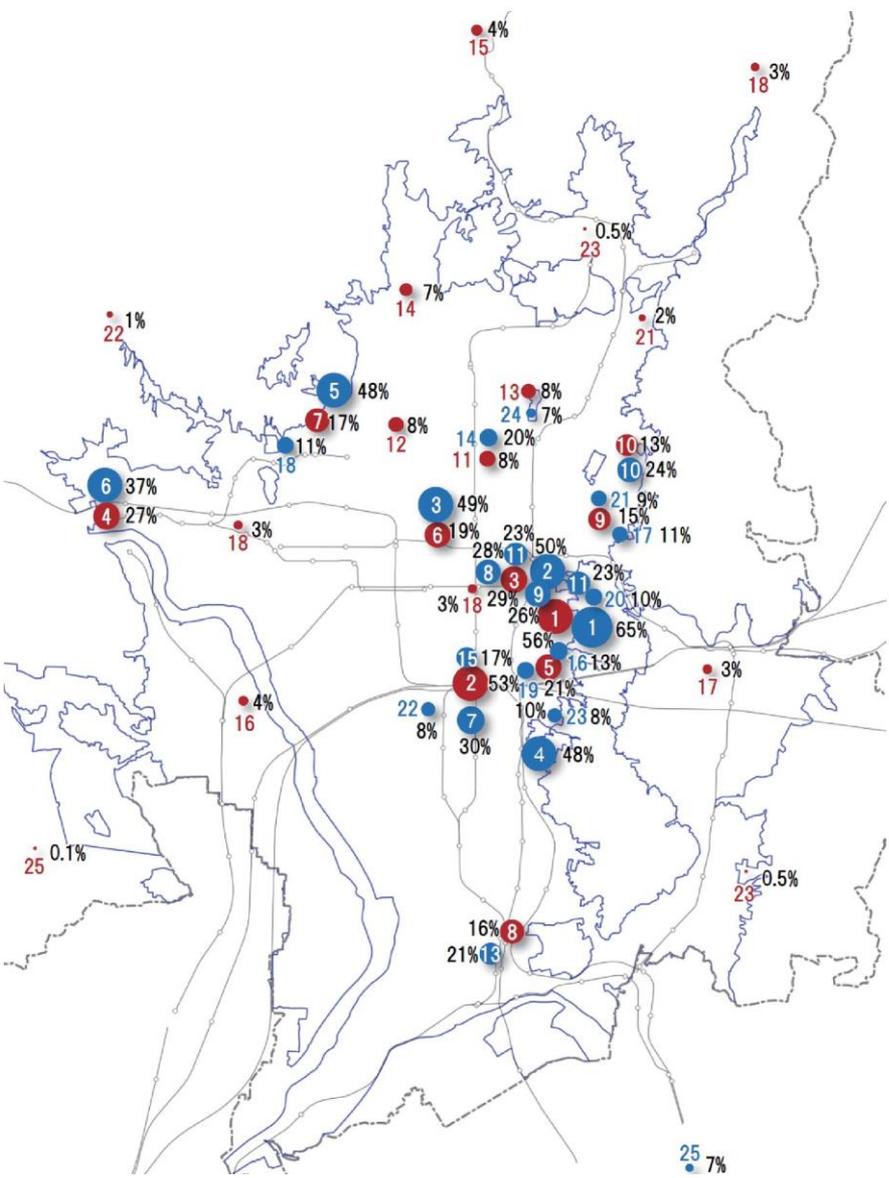
資料)国土交通省「国土数値情報」  
(学校データ)

# 【観光】交流人口・観光客の訪問先(上位25位)

訪問先では、清水・祇園周辺や、京都駅周辺、嵐山、金閣寺といった辺りに集中している。  
外国人はそれに加え、二条城、伏見稲荷大社に多く訪問している。

## 日本人

- | 順位 | 訪問地            |
|----|----------------|
| 1  | 清水・祇園周辺        |
| 2  | 京都駅周辺          |
| 3  | 河原町三条・四条周辺     |
| 4  | 嵯峨嵐山周辺         |
| 5  | 東山七条周辺         |
| 6  | 二条城・壬生周辺       |
| 7  | きぬかけの路周辺       |
| 8  | 伏見周辺           |
| 9  | 岡崎・蹴上周辺        |
| 10 | 銀閣寺・哲学の道・百万遍周辺 |
| 11 | 京都御所周辺         |
| 12 | 西陣・北野周辺        |
| 13 | 下鴨・北山周辺        |
| 14 | 上賀茂・鷹峯・紫野周辺    |
| 15 | 鞍馬・貴船周辺        |
| 16 | 松尾・桂周辺         |
| 17 | 山科周辺           |
| 18 | 大原・八瀬周辺        |
|    | 烏丸御池・烏丸四条周辺    |
|    | 太秦・花園周辺        |
| 21 | 一乗寺・修学院周辺      |
| 22 | 高雄周辺           |
| 23 | 岩倉周辺           |
|    | 醍醐周辺           |
| 25 | 大枝・大原野周辺       |



## 外国人

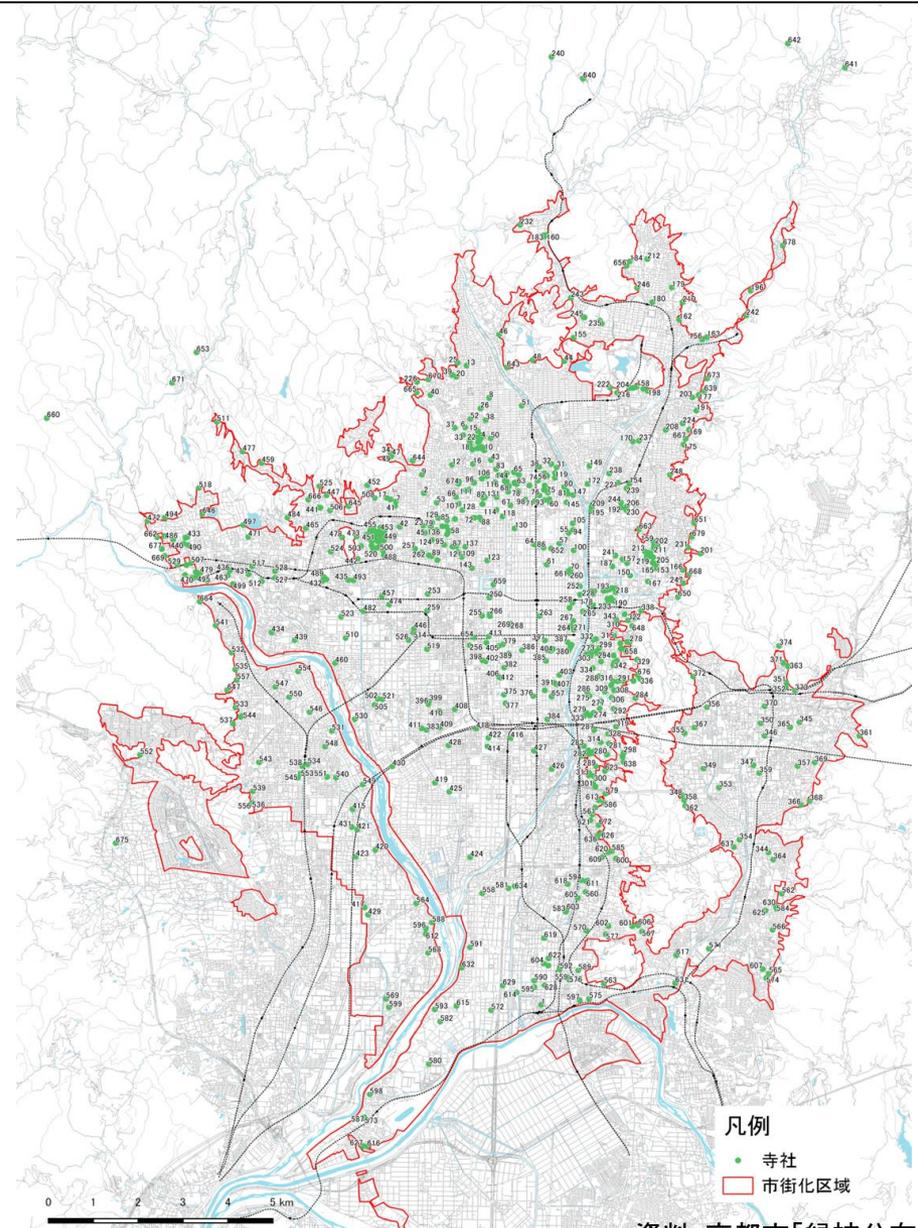
- | 順位 | 訪問地      |
|----|----------|
| 1  | 清水寺      |
| 2  | 祇園       |
| 3  | 二条城      |
| 4  | 伏見稲荷大社   |
| 5  | 金閣寺      |
| 6  | 嵐山・嵯峨野   |
| 7  | 京都駅周辺    |
| 8  | 錦市場      |
| 9  | ギオンコーナー  |
| 10 | 銀閣寺      |
| 11 | 八坂神社     |
|    | 河原町・四条周辺 |
| 13 | 伏見       |
| 14 | 京都御所     |
| 15 | 京都タワー    |
| 16 | 東山       |
| 17 | 南禅寺      |
| 18 | 龍安寺      |
| 19 | 三十三間堂    |
| 20 | 高台寺      |
| 21 | 平安神宮     |
| 22 | 東寺       |
| 23 | 東福寺      |
| 24 | 下鴨神社     |
| 25 | 宇治       |

資料：「平成29年京都観光総合調査」(京都市産業観光局)より作成



# 【文化】寺社の分布状況

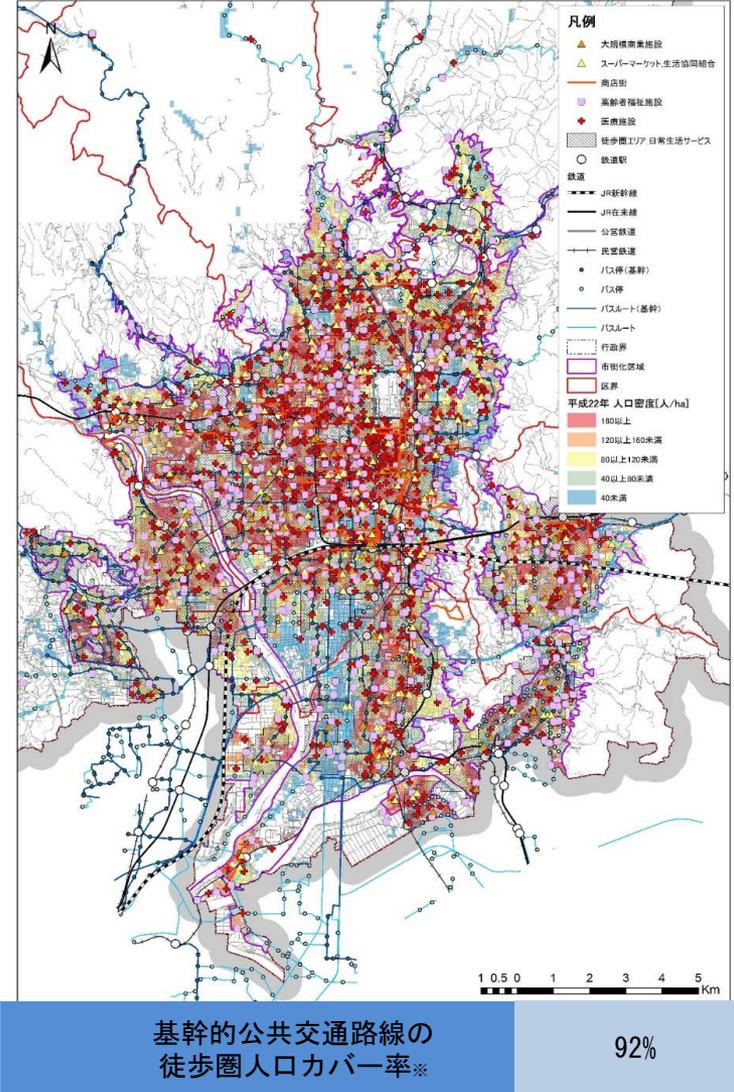
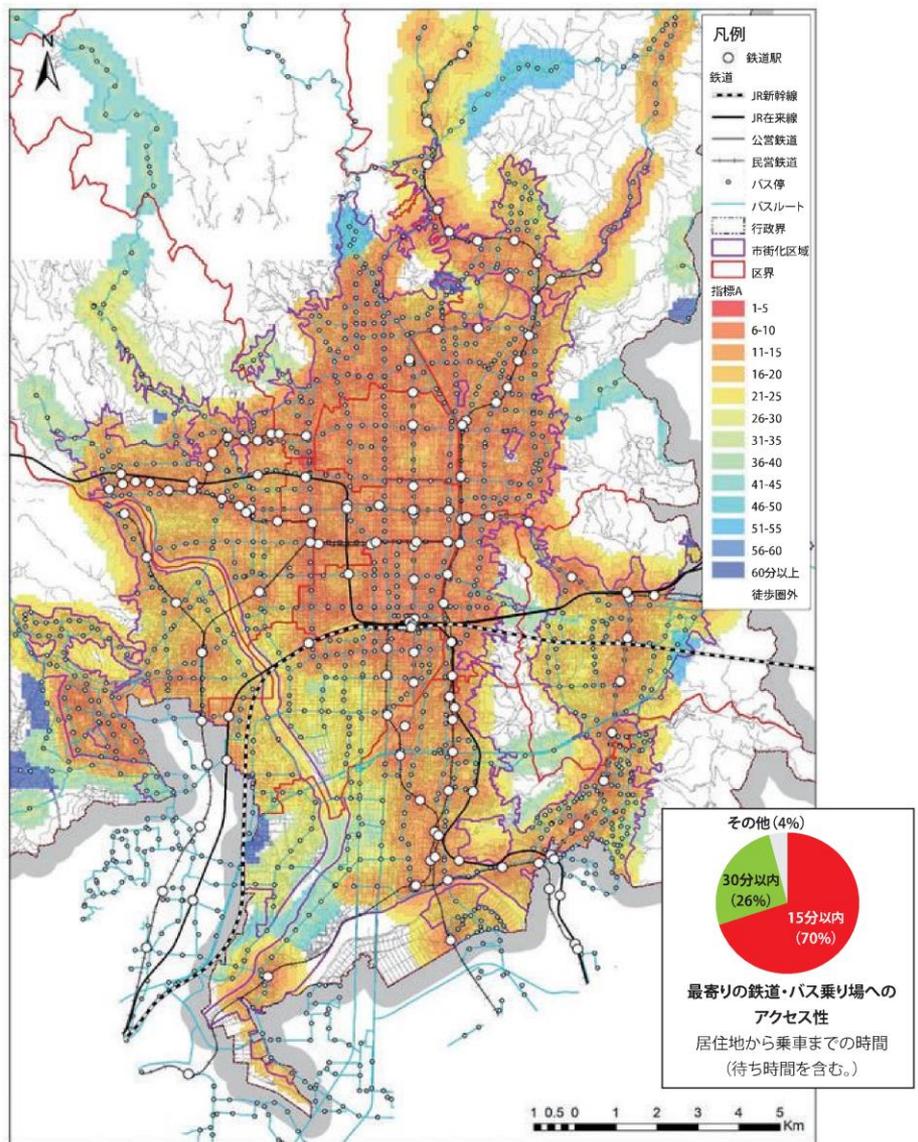
寺社は、市内の中心部から、市街化調整区域も含めた周辺部にまで広く分布している。



資料：京都市「緑被分布調査(寺社データ)」を基に本市作成

# 【公共交通】公共交通のネットワーク状況

居住地から最寄りの鉄道駅・バス停へ到達し、待ち時間も含めて乗車するまでに要する時間は、居住人口の70%が15分以内、96%が30分以内となっている。  
 基幹的交通路線(1日30本以上の鉄道・バス路線)の徒歩圏人口カバー率も92%となっており、他都市よりも高い。



基幹的公共交通路線の  
 徒歩圏人口カバー率※ 92%

※基幹的公共交通路線(1日30本以上、概ねピーク時片道2本以上/時に相当)の徒歩圏(鉄道駅:半径800m圏、バス:半径300m圏)に居住する人口の比率